

少年男子団体16強

相撲



相撲少年男子団体決勝トーナメント1回戦 静岡1
和歌山 副将戦で圧勝した鈴木優斗(右・飛龍高)
|| 福井県大野市エキサイト広場体育施設体育館

(大野市エキサイト広場総合体育施設体育館)
▽成年団体予選1回戦
鹿兒島2-1 静岡 岡
○古川おしだし 藤本
○中島よりたお 加藤
菅間うわてな 宇佐見○
▽同予選2回戦
静岡 岡2-1 岡山
藤本おしだし 重松龍○
○加藤しなげ 恒次
○宇佐見かたすか 津村
▽同予選3回戦
静岡 岡3-0 島根
藤本おしだし 妹尾

○加藤おくりた 花本
○宇佐見おしたお 大野
▽同予選同点決勝
静岡 岡2-0 広島
○藤本つきたお 田原
○加藤うちむそ 谷中
▽少年団体決勝トーナメント1回戦
和歌山3-2 静岡 岡
○坂前よりきり 大桑
○花田おしだし アスハ
○加藤おしだし 土屋○
和田つきたお 鈴木○
○五島くびなげ 岡田
▽少年個人決勝トーナメント1回戦

大鳴淳史 (千葉・拓大紅陵高)
大嶋淳史 (富山・富山商高)
藤沢詩音 (鳴海匠馬青森・五所川原農林高)
鈴木優斗 つきた (青森・五所川原農林高)
飛龍高 し (林高)
山崎勝磨 つきた (青森・三本木農高)
旭丘高 し (岡山晃周)
神奈川・おしだ 岡田晃周
ルズレン おしだ
チョイシ
回戦
△同決勝トーナメント2

成年男子団体 決勝T進出

○：成年男子団体は予選3試合を2勝1敗と勝ち越し、予選同点決勝で連勝して決勝トーナメント進出を果たした。
初戦の鹿兒島戦は落としたが、2戦目から巻き返した。元アマチ

V候補など 強豪を倒す

全国高校総体3位の飛龍高単独チームで臨んだ相撲少年男子団体は、予選で優勝候補の石川など強豪3チームを倒し、3年ぶりの16強入り。篠原監督(富岳館高教)は「一人一人がベストの相撲をしてくれた」と納得した表情だった。

決勝トーナメント1回戦は和歌山と対戦。

鈴木優斗 おしだ (熊本・大海徳高)
▽同決勝トーナメント3回戦
齋藤大輔 うわて (埼玉・埼玉高)
玉栄高 げ 鈴木優斗

ユア横綱の中堅加藤(静寿会介護老人保健施設旭ヶ丘)は45歳と今大会の最年長選手だが、豊富な経験値を生かして岡山、島根戦で勝利。大将宇佐見(東洋大)も危なげない戦いで3戦全勝と貢献した。
7チームによる予選同点決勝では、先鋒(せんぼう)藤本(大方面業)と加藤で勝負を決めた。福里監督(焼津市役所)は「どこのチームも優秀だが、一戦一戦集中して、まずは8強に入る」と意気込む。

再び屈した。小学4年から相撲を始め、高校まで全国大会の個人戦優勝を果たせなかったが、「自分の押し相撲をもっと磨きたい」と大相撲挑戦を視野に入れる。(青木功太)

果敢に攻め込んでくる相手に先鋒(せんぼう)大桑と二陣アスハダ、大将岡田が敗れ、8強を逃した。それでも、中堅土屋は十俵際で踏ん張り、押し出しで競り勝った。大黒柱の副将鈴木も9月上旬に負傷した左足首の影響で万全ではなかったものの、大将戦まで望みを失っていない。
鈴木は個人3回戦で、全国高校総体準決勝でも敗れている齋藤(埼玉・埼玉栄高)に